

令和元年度大岡小学校 4年3組 クラスの学びを発信します！

自分も相手も楽しもう トリックアート大作戦？！

今年の大岡の時間について話し合う中で、子どもたちから「協力する力をつけたい。」「大人も子どもも楽しめるものにしたい。」という言葉が多く出てきました。協力でき、大人も子どもも楽しめる『ものづくり』から材を探しだした子どもたち。担任が休み中に行ったトリックアート美術館のことを紹介すると、トリックアートに興味を示す子どもが出てきました。「私も行ったことがあるけど、お母さんも私も楽しめたよ。」「トリックアートがどんなものか調べたい。」という声があがり、トリックアートについて調べたり、かいたりする時間を設定することに。そうするうちに、トリックアートにも様々な形があること、実際に友達がかいた作品が飛び出して見えることを知ります。「4の3オリジナルの作品を作ったら楽しそう。」「トリックアートで人に喜んでもらいたい。」と願いが生まれ、みんなで『自分も相手も楽しもう トリックアート大作戦？！』を追究していくことになりました。



早速「全員がトリックアートに見える作品が2つ以上かけるようになる」を目標に活動がスタートしました。集めた本や調べたことをもとに繰り返し作品づくりに挑戦するうち、みんなの作品が見たいという思いが膨らみます。そこで、お互いの作品や頑張ったところを紹介し合う時間を設定しました。ふり返しからは、「『すごい！』と言ってもらえて嬉しかった。」「失敗したことも話してくれて、書き方がよく分かった。」など、友達の『いいね！』や、立体的にかくためのコツが見えてきました。

さらに子どもたちは、大きな作品や色のついた作品に挑戦する中で、プロの方にもっと詳しく教わりたいという思いを抱きます。夏休み前には、トリックアート美術館の方へお願いのお手紙を書き、交流の約束をすることができました。今後はプロの方とも関わりながら、さらにトリックアートを究めつつ、自分も相手も楽しめる活動に取り組んでいきます。

